

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ

(6月ECB＜欧州中央銀行＞理事会)

2018/6/15

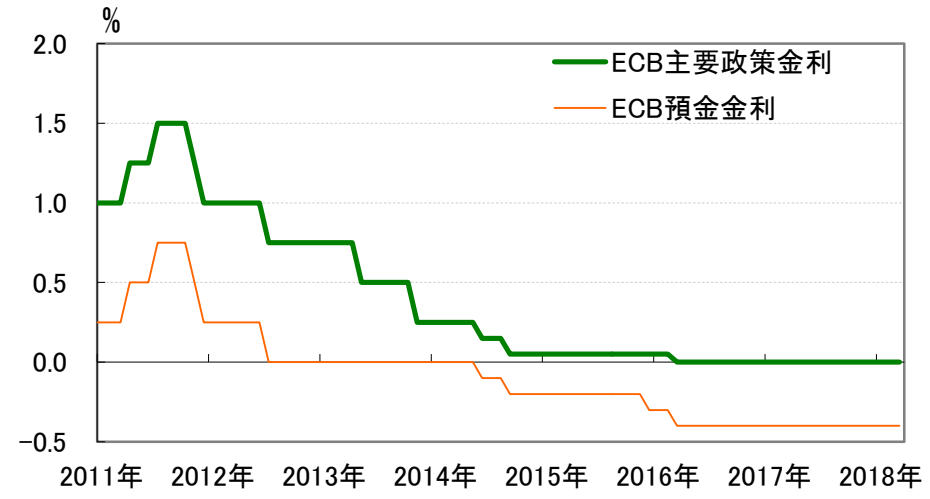
りそなホールディングス 市場企画部

〇概況

- ◆ 政策金利据置き
- ◆ 量的緩和の年内終了、及び10-12月の緩和規模縮小を決定
- ◆ 2019年夏まで政策金利据え置きを公表

- ✓ 6月14日に開催されたECB（欧州中央銀行）理事会では、政策金利を据え置き、主要リファイナンス金利を0.00%、中銀預金金利は▲0.40%、中銀貸出金利は0.25%とした。
- ✓ 以下3点を決定。①量的緩和の年内終了②10-12月の間は量的緩和規模を縮小(資産買入規模：月300億ユーロ→150億ユーロ)③2019年夏まで政策金利を据え置き。
- ✓ ECBスタッフ見通しでは3月時点と比較し、2018年の実質GDP成長率が下方修正された一方、インフレ見通しについて原油価格上昇を見越し2018、19年共に上方修正された。
- ✓ ドラギ総裁の記者会見では、今回の決定が全会一致であったとし、また利上げの時期については討議しなかったと述べた。政策金利据え置きを2019年夏までとしたことについて、夏とは9月かとの質問に対しては「9月なら9月と言う」と時期を明言しなかった。またイタリア市場の混乱については国内だけの問題であり、ユーロ圏市場への波及はほぼなかったと指摘した。
- ✓ 今会合の主な焦点は量的緩和終了時期を公表するかどうかであった。今会合で公表されたことは市場予想通りであったが、2019年夏まで政策金利を据え置くとしたことはサプライズであり、金利低下・ユーロ安が進行。早ければ2019年6月に利上げを実施するとの予想があったが、この可能性は消滅。2019年9月頃の利上げが予想される。

【ECB政策金利と預金金利】



【ECBスタッフ見通し（3月時点）】

	2018年	2019年	2020年
実質GDP成長率	+2.1	+1.9	+1.7
3月時点の見通し	+2.4	+1.9	+1.7
HICP	+1.7	+1.7	+1.7
3月時点の見通し	+1.4	+1.4	+1.7

前年比、%

【出所】ECB、Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。